

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 :20240611A.20240611B.20240611C.20240611D.20240611E.20240611F
20240611G
供給者名 :三商株式会社
住所 :愛知県名古屋市東区葵三丁目 25 番 32 号
担当部署 :マテリアル事業部開発課
電話番号 :TEL 0568-89-5507 FAX 0568-89-5509
推奨用途及び使用上の制限: 屋外用建築塗料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

健康に対する有害性

眼刺激性 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示(ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠け又はめまいのおそれ

水生生物に有害

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の【電気機器/換気装置/照明機器/塗装器具】を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレートの吸入を避けること。
- 取扱い後は手指をよく洗うこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

- 皮膚に付着した場合:多量の水/石鹼で洗うこと。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 火災の場合:消火するために適切な消火剤を使用すること。
- 漏出物を回収すること。

保管

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器は、法律及び地方自治体の規則にそって適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別

混合物

組成

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	CAS 番号
酢酸エチル	非公開	141-78-6
酢酸ブチル	非公開	123-46-4

4. 応急措置

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水/石鹸で洗うこと。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼刺激が続く場合は医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行うこと。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。また、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な保護具を着用する。

取扱い場所及び周辺の火気、静電気、衝撃火花等の着火源を厳禁とする。

静電気対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。

容器は常に密閉し、開閉は、通気性の良い場所又は局所排気、全体換気装置のついた所で行う。

安全取扱注意事項

取扱いは換気の良い場所で行う。

接触回避

知見なし。

衛生対策

取扱い後は手、顔などを良く洗い、うがいをする事。

保管

安全な保管条件

危険物の貯蔵に関する法令、技術指針を尊守すること。

直射日光を避け、冷暗所で保管すること。

保管場所の換気をよくすること。

安全な容器包装材料

危険物の保管に適した容器を使用すること。

密栓して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

適切な保護具

呼吸器の保護具

有機ガス用防毒マスク

手の保護具

耐溶剤性保護手袋

眼の保護具

保護メガネ

顔面の保護具

シールド面

皮膚及び身体の保護具

耐溶剤性保護衣、耐溶剤性前掛け

9. 物理的および化学的性質

物理状態

液体

色

透明

臭い

エステル臭

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

可燃性液体

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし

引火点

-4° C(酢酸エチル)

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

非該当

動粘性率

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

1.1

相対ガス密度

データなし

粒子特性

非該当

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常取り扱い条件下では安定。

危険有害反応可能性

知見無し。

避けるべき条件

高温、火花、裸火、または、直射日光。

混触危険物質

知見無し。

危険有害な分解生成物

分解、燃焼により一酸化炭素などを生じる場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

分類できない

経皮

分類できない

吸入:気体

分類対象外

吸入:蒸気

区分 4

吸入:粉じん、ミスト

分類できない

皮膚腐食性/刺激性

分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

区分 2

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

生殖毒性・授乳影響

分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分 3(気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

分類できない

誤えん有害性

分類できない

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)

区分に該当しない

残留性・分解性

分類できない

生体蓄積性

分類できない

土壌中の移動性

分類できない
オゾン層への有害性
分類できない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

残った製品(残余廃棄物)は、法律および地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器および包装

汚染した容器は内容物の注意書きに従って扱うこと。

14.輸送上の注意

国連番号(該当する場合)

UN1263

国連輸送名(該当する場合)

塗料または塗料関連物質

輸送における危険有害性クラス(該当する場合)

3

容器等級(該当する場合)

II

指針番号

128

海洋汚染物質

該当

国内規制がある場合の規制情報

指定数量を超える量を輸送する場合はイエローカードを添付すること。

消防法(第 4 類第一石油類)に従った容器、積載方法で輸送すること。

15.適用法令

消防法

危険物 第 4 類第一石油類(非水溶性)

化審法

非該当

化管法

非該当

労働安全衛生法

危険物 引火性の物

有機溶剤中毒予防規則 酢酸エチル(第 2 種有機溶剤)、酢酸ブチル(第 2 種有機溶剤)

通知対象物質

酢酸エチル、酢酸ブチル

表示対象物質

酢酸エチル、酢酸ブチル

毒物及び劇物取締法

非該当

船舶安全法・航空法

引火性液体

大防法

揮発性有機化合物(VOC) 酢酸エチル、酢酸ブチル

水濁法

指定物質(政令第 3 条の 3 第 13 号 酢酸エチル)

16.その他の情報

参考文献

日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン

JIS Z 7252:GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253:GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

注意事項

この安全データシートの記載内容は、代表値であり、規格値、及び保証値を示すものではありません。

推奨される用途での、一般的な取扱いを想定して記述しております。実際の使用環境、使用用途に照らして、取扱い方法や安全対策をご検討ください。

本製品は、土木建築用途、及び一般工業用途向けに開発、製造しております。その他の用途へのご使用に当たっては、貴社にて事前にテストを行い、安全性をご確認のうえ、ご使用ください。医療用、食品用、理美容用、農業用等の用途では使用しないことを強く推奨します。